

# DRAGOSINE

(ドラゴシン)

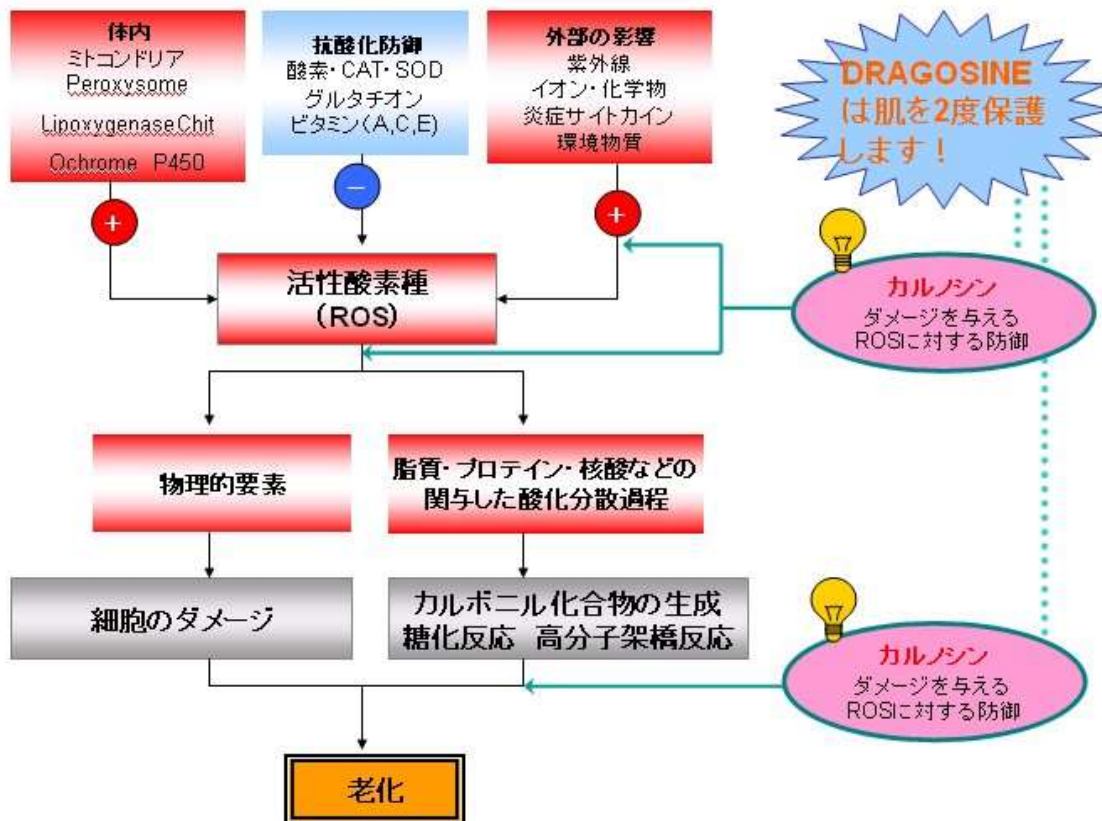
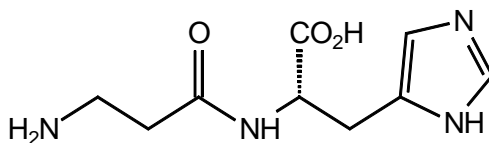
様々な作用を持つ天然と同一構造のジペプチド

**【特長】** 年齢と共に減少する抗酸化成分カルノシンの補給  
ダメージを与える活性酸素から細胞を保護  
老化によるタンパクの糖化を抑制(アンチグリケーション)

## 【コンセプト】

DRAGOSINE(ドラゴシン)は、「カルノシン」と呼ばれるジペプチドの一つです。

もともと、人間の生体内に存在する優れた抗酸化成分で、細胞を酸化から保護する役割を担っており、年齢と共に減少します。また、カルノシンは、活性酸素によるダメージから細胞を保護するだけでなく、除去出来なかった活性酸素が、タンパクをカルボニル化するのを抑制する効果を併せ持

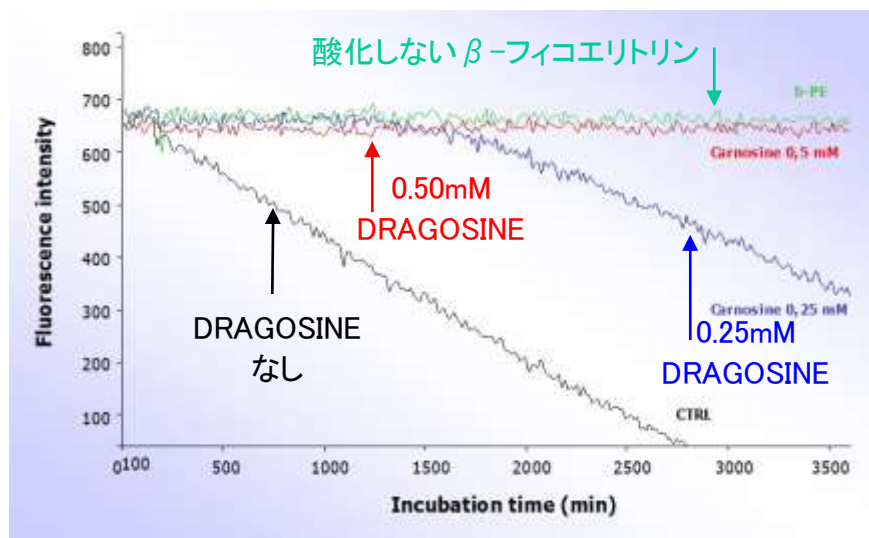


タンパクのカルボニル化は、肌の老化やシワの原因である事が知られており、カルノシンはこれを防ぐ事の出来る重要な成分と言えます。

## 【効果・効能】

### 活性酸素からの防御機能

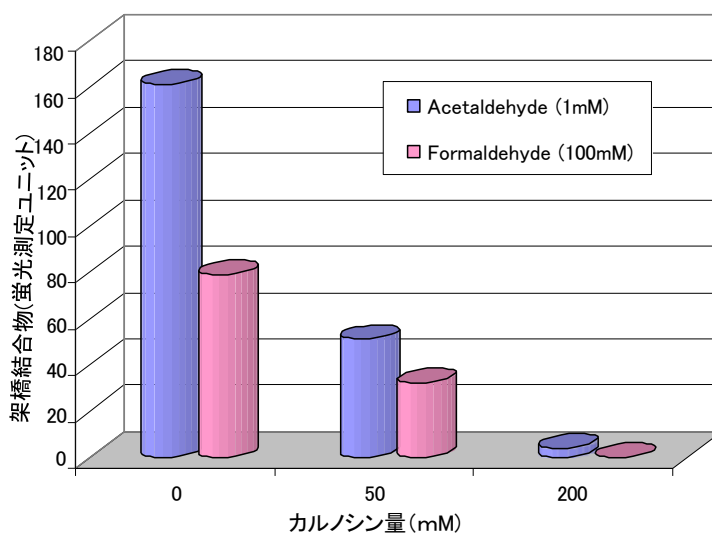
スーパーオキシラジカルによりβ-フィコエリトリンを酸化させた時の蛍光強度の減少を測定。カルノシンを配合する事で、酸化を防御する効果が確認された。



β-フィコエリトリンが酸化されると蛍光強度(縦軸)が減少し、酸化が防止されると蛍光強度の減少が緩やかになります。

### タンパク質のカルボニル化防御機能

DNAとタンパク質の混合物をホルムアルデヒドまたはアセトアルデヒドの存在下で、1時間後、架橋反応物を測定。カルボニル化タンパクの形成が阻害されている事が確認された。



## 【商品情報】

商品名: DRAGOSINE (ドラゴシン)

表示名称: カルノシン

推奨配合量: 0.05%~0.2%

製造元: シムライズ

2009/9/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、  
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。